

ニカラグア定期報告（2019年4月）

【要旨】

内政面では、4月3日、政府と市民同盟の間の交渉が交渉期限を迎えた。両者は以後も非公式な形で断続的に会合を重ねたが、新たな合意には至らず。反政府デモは引き続き警察に抑圧され、市民同盟は、政府に対し3月末の合意（政治犯釈放、市民の権利の尊重）の履行を要求。外交面では、米政府は、ラウレアノ・オルテガ氏（大統領の子息）及び Bancorp 銀行を制裁対象とする旨公表した。経済関係では、IMF が2019年の当国 GDP 成長率予測値を▲5%と発表した。

【主な出来事】

1 内政・外交

（1）政府と市民同盟との間の交渉

ア 政府と市民同盟の交渉は、3月末に被拘禁者の釈放及び市民の権利の強化に関する合意が成立していたが、4月3日、その他のテーマ（選挙改革、暴力の責任者の処罰、合意の履行の保証人の選定）に関しては合意が成立することなく交渉期限を迎えた。以降、両者は、非公式な形で断続的に会合を重ねた。

イ 4日、青と白の国民連合（UNAB）は、6日、マナグア市内各所で国家警察の目をかいくぐる形でゲリラ的なフラッシュデモを実施した。

ウ 5日、内務省は、公共の安寧に反する犯罪を犯した被拘禁者50名（政治犯）を仮釈放した。

エ 10日、政府及び市民同盟との間の会合が実施され、政府は、国外に逃避しているニカラグア国民の帰還のための合意案を市民同盟に提示した。市民同盟は同案を受け入れず。

オ 12日、法王庁大使館にて、政府と市民同盟との間で少人数会合（2+2）が開催され、法王庁大使とロサディージャ OAS 事務局特使は、政府と市民同盟双方の交渉団に対し、23日（聖週間明け）に中米経営大学院（INCAE）において同様の少人数会合（2+2）を開催することを提案した。

カ 15日、政府は、2018年4月18日以降の一連の事件のコンテキストにおいて国外に居住するニカラグア人の帰還に関するプログラムを発表した。市民同盟は、プレスリリースを発売し、同帰還プログラムについて、政府の一方的決定であり、その履行を確保する保証人も明示されていないと批判した。

キ UNAB は、17日、マナグア市内中心部（マサヤ街道）でのデモ行進を試みたが、国家警察の妨害に遭ったため、警察の監視をかいくぐる形で市内各所で小規模なデモを行った。

ク 19日、マナグア市内にて行われたカトリック教会の聖体行列の後、同イベントに参加した反政府市民が大聖堂境内及びその周辺にて抗議活動を行い、国家警察との間で小さな衝突が発生した。

ケ 23日、市民同盟の交渉団は、交渉の立会人団（法王庁大使及びロサディージャ OAS 事務局特使）と会合を開き、政府がこれまでに成立した2つの合意（政治犯釈放プロセス進展、市民の権利の強化）を履行していないと訴える書簡を提出した。

コ 29日、政府と市民同盟は、交渉の立会人団から提示された仲介案（政府及び市民同盟双方の被拘禁者リストに掲載されている232名について90日以内という釈放期限に先行して釈放を進める、全ての釈放プロセスが赤十字国際委員会（ICRC）の関与下で行われる、市民の権利に関する合意の履行を確実なものにするための国際的保証人を招待する、等）について議論を行ったが、政府側が仲介案を受け入れず、同案を無視した独自の対案を提示したため、合意は成立しなかった。

（2）カトリック教会の動き

ア 4日、バエス・マナグア司教補佐（反政府派）がバチカンにてローマ法王に謁見した。

イ 10日、ブレネス枢機卿は、バエス司教補佐が法王フランシスコの決定により無期限でバチカン市国に転任することになった旨を発表した。

ウ 21日、ローマ法王が、バチカン市国において復活祭のスピーチを行い、ニカラグアに関して、対話による危機の平和的解決のための取り組みを要望する旨発言した。

エ 23日、バエス司教補佐は、バチカン市国への転属のため当国を出国した。

（3）ニカラグア情勢にかかる米国政府の動き

17日、米国財務省外国資産管理室（OFAC）は、米大統領令13851号に基づき、オルテガ大統領夫妻の息子であるラウレアノ・オルテガ氏及び Bancorp 銀行（Banco Nacional 銀行）を制裁対象に指定した。

（4）ニカラグア情勢をめぐる OAS 及び国際機関の対応ぶり

ア 1日、OAS 常設理事会議長に米国（トルヒージョ米 OAS 常駐代表）が就任（任期3ヶ月）。トルヒージョ代表は、ニカラグアにおいて民主主義及び人権尊重というテーマに関して前進が見られない場合、オルテガ体制に対して米州民主主義憲章第20条を適用する意向を示した。

イ 4日、米国、アルゼンチン、ブラジル、チリ、ジョージア政府代表らがジュネーブに集まり、ニカラグアにおいて続く人権侵害事案についてレビューした。

ウ 5日、OAS 常設理事会は、アルゼンチン、カナダ、チリ、コスタリカ、米国の要請に応じて、ニカラグア情勢について協議するため特別セッションを開催した。この場において、ロサディージャ OAS 事務局特使がニカラグアにおける政府と市民同盟との間の交渉の現状について説明を行った。

エ 24日、ニカラグアを訪問中のフェルナンデス OAS 事務局選挙監視部選挙技術協力課長が、政府及び市民同盟それぞれの代表と会合を行い、選挙改革に向けた6ヶ月間に及ぶ作業計画案を提示した。

オ 26日、OAS 常設理事会のニカラグア問題にかかる特別会合が開催され、米州民主主義憲章第20条の適用検討をはじめ、当国の民主主義（侵害）の現状及びニカラグア情勢全般について話し合われた。

（5）その他

ア 次期エルサルバドル大統領（6月1日就任予定）の発言

①4日、ブケレ次期エルサルバドル大統領は、自身のツイッターアカウント上にて、エルナンデス・ホンジュラス大統領及びオルテガ大統領について、両者には右派か左派かという差はあるものの、暴力に基づく権力、多くの死者という犠牲、民主的正当性の欠如の上に権力の座にあるとの批判を行った。

②10日、ブケレ次期エルサルバドル大統領は、自身のツイッターアカウント上にて、選挙の正当性に疑問の残るエルナンデス・ホンジュラス大統領、オルテガ大統領、マドゥーロ・ベネズエラ大統領（注：ブケレ氏は以前よりこれら3ヶ国の大統領を独裁者として批判してきた）を自身の大統領就任式に招待しない旨メッセージを発出した。

イ フォンセカ湾開発への取り組み

11日、エルサルバドル、ホンジュラス、ニカラグアの大統領はビデオ会議にてサミットを開催。モッシ中米経済統合銀行（BCIE）総裁も出席する中、フォンセカ湾への投資・経済発展マスタープランの採択等、同湾開発にかかる3ヶ国間の合意と認識を新たにした。

ウ 大カリブ圏担当大統領顧問任命

26日付官報にて、ジェンスケ・カリブ担当外務次官が同職を免じられ、大カリブ圏担当大統領顧問（閣僚級）に就任した旨発表された。

エ マドゥーロ・ベネズエラ政権への支持表明

30日、ニカラグア政府は、同日のベネズエラ・グアイド暫定大統領による蜂起の呼びかけを批難し、マドゥーロ政権への連帯を表明するプレスリリースを発表した。

2 経済

（1）中米経済統合銀行による新規融資契約

4日、当国を訪問したモッシ中米経済統合銀行（BCIE）総裁は、アコスタ財務・公債大臣とともに対ニカラグア新規融資契約に署名した。今次融資総額は2億200万米ドルに上り、

リバス県・チナンデガ県・北カリブ沿岸自治区第8次幹線道路拡張整備計画、ブルーフィールドズ及びビコーン島空港設備改善事業に充てられる。

(2) IMFによるGDP成長率予測

9日、IMFが公表したところによれば、2019年のニカラグアGDP成長率予測値は▲5%（2020年：▲0.2%、2024年：+3%）。ニカラグア経済社会開発財団（FUNIDES）は、IMFによる2019年GDP成長率予測値が▲5%である場合、同年にはおよそ16万人の正規雇用が失われる可能性があると分析している。

(3) Bancorp銀行の解散

17日に、米財務省外国資産管理室（OFAC）が、Bancorp銀行（及びBanco Nacional銀行）への制裁適用を明示的に発表したことを受け、22日に開催されたBancorp銀行執行役員会合において、同制裁発動の明示により同行業務続行が不可能になったとの判断から、同行の自主的解散手続きの開始許可を銀行・金融機関統括庁（Siboif）に要請することが満場一致で決議され、23日、同要請書がSiboifに送付された。

(4) 最低賃金引き上げ協議の停止

25日、労働省において最低賃金引き上げの必要性に関する定例会合が開催され、月毎の本件見直し協議を本年8月まで見送ることが決定された。また、同会合において、現状では最低賃金の値上げは行わず、中銀による上半期報告書の発表を待ち、決断を下すとの決定がなされた。

<主要経済指標>

	2017年	2018年	2019年		
			2月	3月	4月
インフレ率（対前年同月）	5.7%	3.9%	3.4%	5.1%	5.8%
貿易収支（百万ドル）	▲3,049.5	▲2,312.4	▲126.1	未発表	未発表
輸出FOB（百万ドル）	2,548.3	2,516.9	221.0	未発表	未発表
輸入FOB（百万ドル）	5,597.8	4,829.4	347.2	未発表	未発表
海外送金受取額（百万ドル）	1,390.8	1,501.2	122.3	137.3	134.5
外貨準備高（百万ドル/期末）	2,757.8	2,261.1	未発表	未発表	2,174.4

（出典：ニカラグア中央銀行）

（了）